

今日のトピック 日本企業の業績動向：16年度実績は上振れ 17年度は慎重な会社予想だが今後は上方修正へ

ポイント1 16年度見通しは4%経常増益 非製造業が好調

- 日本企業の16年度決算発表が行われています。QUICKの集計によると5月9日までに東証1部上場企業（除く金融）の内41.0%の発表が終わっています。発表企業は実績を、未発表企業はコンセンサスをQUICKベースで集計したところ、経常利益が前年比+3.7%、製造業が同▲1.4%、非製造業が同+10.1%となっています。
- 業種別にみると、原油など資源価格の上昇を反映して卸売業（商社）、石油・石炭製品、情報・通信業などが全体の増益をけん引しました。一方、電気・ガス業、鉄鋼業、輸送用機器などは減益となりました。

ポイント2 16年度決算は上振れ 1-3月期の好調が要因

- 発表済み企業の16年度の経常利益は10-12月期決算発表時の会社予想や決算発表前のコンセンサス予想に対して、上振れ傾向となっており、最終的にも上振れで着地するとみられます。
- トランプ大統領の経済政策への期待や半導体などIT関連の好調、円高の一服などから、15年7-9月期以来の増収増益となるなど17年1-3月期の業績好調が上振れに寄与しました。

【16年度、17年度の経常利益見通し】

業種名	2015年度 (実績)	2016年度 (実績・予想)	2017年度 (予想)
	前年度比 (%)		
全産業	0.4	3.7	14.5
製造業	▲ 3.7	▲ 1.4	21.1
非製造業	5.9	10.1	7.1
食料品	15.8	11.0	14.3
繊維製品	19.2	2.1	11.2
パルプ・紙	11.6	8.3	11.8
化学	11.7	▲ 0.7	10.9
医薬品	95.8	3.7	4.8
石油・石炭製品	連続赤字	黒字転換	▲ 7.5
ゴム製品	45.9	1.1	16.6
ガラス・土石製品	▲ 8.1	13.1	10.2
鉄鋼	▲ 49.2	▲ 16.7	66.5
非鉄金属	▲ 38.6	22.0	36.3
金属製品	▲ 25.1	47.9	13.6
機械	▲ 18.1	▲ 12.0	22.1
電気機器	▲ 18.8	0.3	38.6
輸送用機器	2.9	▲ 12.0	17.1
精密機器	0.9	▲ 8.8	20.6
その他製品	▲ 11.5	5.5	42.0
水産・農林業	7.5	30.1	▲ 43.7
鉱業	▲ 39.6	▲ 8.7	42.4
建設業	41.9	14.1	3.4
電気・ガス業	142.2	▲ 35.6	▲ 6.2
陸運業	17.2	2.3	2.1
海運業	▲ 45.9	赤字転換	黒字転換
空運業	39.1	▲ 9.9	6.6
倉庫・運輸関連業	3.1	▲ 11.3	9.3
情報・通信業	10.2	11.4	7.0
卸売業	▲ 45.7	126.0	10.8
小売業	24.3	2.8	12.7
不動産業	15.2	10.8	4.1
サービス業	▲ 14.5	▲ 5.6	9.1

(注) 2017年5月9日現在。QUICKコンセンサスベース（除く金融）。
(出所) QUICKのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 17年度の会社予想は慎重 今後徐々に上方修正へ

- 17年度の企業側の業績予想は、保守的な需要、為替見通し等を勘案して慎重なものとなっています。それを受けてのQUICKベースの予想経常利益で14.5%増益ですが、決算発表が始まる前の市場コンセンサスは下回っているとみられます。
- 企業側の予想は為替レートの前提は1ドル=105~110円が多く、今後一層の円高が進まなければ、4-6月期以降の四半期決算の発表時には業績の上方修正が行われ、株価のプラス要因となる見込みです。

ここもチェック! 2017年4月14日 日本の企業業績と株式市場の見通し 2017年4月12日 最近の指標から見る日本株式（2017年4月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。